

警鐘レポート2 注射剤の血管内投与後に発症したアナフィラキシーによる死亡

事例6

< 事例概要 >

- ・ 50歳代、冠動脈バイパス術後の患者。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、ヨード造影剤（イオパミドール）。CT検査室で発症。
- ・ 過去にヨード造影剤を使用し、アレルギー症状の出現有。
- ・ 造影剤注入から1分後、咳嗽が出現し、検査を中断。初発症状を認めた直後、薬剤準備中に両上肢瘙痒感を認めた。嘔気も出現し、4分後、抗ヒスタミン薬、H2受容体拮抗薬を静脈内注射。血圧測定不能となり、5 分後、アドレナリン0.5 mgを静脈内注射。7分後、心肺蘇生を開始し一時従命可能となるが、18分後に血圧が再度低下しアドレナリン0.3 mgの筋肉内注射。救急処置を実施するが、約6時間後に死亡。